

日本共産党

生活相談お気軽に

発行：山田利子

住所：飯能市八幡町6-15

電話：973-4710 (FAX兼)

携帯 090-4389-4439

2006.1月 <活動報告>

こんにちわ山田とし子です

福祉・くらし、住みよい地域に

力いっぱいがんばります



地域の皆さんに支えられてがんばることができました。

小泉政治は増税、憲法改悪で国民の暮

らしや平和を脅かそうとしています。

みなさんと一緒に、誰もが安心して暮らせる政治を実現するために一

生けんめいがんばります。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。



12月市議会での一般質問の

概要をまとめました。是非ご

覧ください。

ご意見やご要望などがあり

ましたらお気軽にお寄せくだ

さい。



昨年は、アスベストや耐震偽装問題、子どもたちが犠牲になる痛ましい事件などが相次ぎました。多くの方々が地域や社会・

政治のあり方に不安や疑問を持たれたのではないのでしょうか。命と暮らしを何よりも大事にする政治に転換し、希望がもてる社会をつくるため、また「憲法9条」を守り抜くため全力でがんばります。

参議院埼玉選挙区予定候補

あやべ澄子

第一保育所の改築計画が白紙に 「ガマンをお願いしたい」と冷たい市長

山田 川寺・上の線の道路整備によって庭が大きくえぐり取られ、うなぎの寝床のような遊び場になってしまった。保育所（園）保護者会連合会も『園庭が狭くなって子どもたちがのびのび遊べる環境にないこと、大型車両が頻繁に通過することへの不安』などから建物の移転を要望している。ここは、交差点の付近であり、交通量の多さ、



排気ガスの影響など、子どもたちの保育環境に悪影響を及ぼすことは明らか。子どもたちをそんな環境に置いてよいか。市の考えをお聞きしたい。文教ゾーンとして購入した山手町用地に早急に移設をすべきではないか、と強く求めました。

市長 「我慢をお願いしたい」と冷たい答弁でした。

そもそも第一保育所の建て替えは平成15年度に予定されていたのです。ところが突然、中止されてしまったのです。

『子育てするなら飯能市』と日ごろ言っている市長。言うこととやることがちがっていませんか。子どもたちに我慢を強いる一方、5億5千万円の市庁舎別館建設を進める市の姿勢に憤りを感じます。

多子入所世帯の保育料を 二人目から半額に

山田 子育て最中の家庭は経済状況も労働条件もかなり厳しい状況下にあり、保護者会連合会も保育料の引き下げを要望。次世代育成支援行動計画策定で行ったアンケートでも、経済的支援を望む声が多かった。市長は日ごろから「子育てするなら飯能市」といっているので文字通り実践していただき、経済的支援として、所得制限なしで二人目から半額に、三人目からは無料にするよう求めました。

福祉部調整監 色々問題があり現状の制度でいく。現在、その考えはないと答えました。

安上がり保育はやめよ

山田 公立保育所の民営化を打ち出しているが、人件費削減が主になり保育士の入れ替わりが激しければ、こどもたちの成長に責任を持つ保育ができない。サービス低下、保育の質の低下は明らか。現在でも長時間保育、乳児保育、一時保育、など多様な保育ニーズにこたえて保育している。市は民営化の前には「公立保育所だからできる」ことをすべきではないか、と求めました。

福祉部調整監 保育ニーズの多様化に向けて移管、指定管理者制度への移行を検討している。今年度中に方向性を出す」と相変わらず、公的責任を放棄する答弁でした。

武蔵丘ショッピングセンター計画 住民、商店街との合意形成を

12月議会に、国道299号と西武線に囲まれた武蔵丘地区（斎場付近）に、ショッピングセンターの建設計画と、この地域内ある市道の廃止が一緒に出されました。計画によると2・1ヘクタールに6つの店舗と328台分の駐車場の建設が予定され、店舗面積は6300㎡でエッサンの3倍程、その中に市の公共施設として観光トイレと物産館を建設、運営は商工会議所に要請したということです。

突然、出された計画に 商店街はびっくり

山田 今まで、まちの活性化に向けて一生懸命がんばってきた商店街の皆さんは、計画を聞き「今まで一生懸命が

んばってきたのはなんだったのか？」「いたい、市は何を考えているのか？」と不安の声があがっていることを取り上げました。市は顧客誘導策と考えていますが、大型店出店で商店街に空き店舗が増えている現在、私は、そうはならないと考える。商店街や地域住民と充分話し合い、合意のもとに進めるよう求めました。

市民環境部長は「今後、商工会議所を通じ事業者と商店街との共存共栄について働きかけていきたい」とこたえました。

どう考えても、企業に振り回される結果になるのではないのでしょうか。

地元商店を守るために 市独自のまちづくり条例を

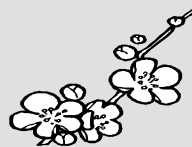
山田 全国的に郊外型、巨大化する大型店が、街の中心部を空洞化させ疲弊が進み大きな問題となり、自治体独自に大型店の出店調整を図ろうとする動きも広がっている。福島県では、「説明会開催とそこで出された意見を報告すること、地域貢献活動計画書の義務づけ、罰金の科料など」を盛り込んだ「条例」を制定した。既存の商店街は地域経済や文化の担い手として役割を



果たしてきたことからみても、全国の教訓に学び、早急に営業日や営業時間の規制や商店街加盟など含めた、大型店との調整ができる市独自のまちづくり条例を制定するよう求めました。

市民環境部長 「考えていない」とそっけない答弁でした。

障害者に自立支援の名で負担増 市独自の支援措置が必要



山田 障害者自立支援法成立で、1割の利用料のほかに、食事代・光熱費の実費負担では、障害が重くなるほど、また、サービスを必要とする人ほど重い負担が押しつけられる。作業所で働いて、わずかな工賃より数倍の費用がかかる。障害者年金を請けている方は、手元に残るのは軽減措置があっても24000円といわれている。これでは今よりいっそう親や家族に頼らざるを得ない。

これでは自立を支援するどころか、阻

害するもの。障害者がようやく社会参加できたのに家に引きこもるようにならないかと心配です。障害者の立場に立って、市は利用料の軽減やサービス内容の充実を市独自に施策を講ずべきと質問しました。



福祉部調整監 「負担増は免れない」また「その時点で換算していききたい」と負担増を認めながらもまだ、中身が示されていないので対策は考えていないという状況です。

富士見学童の排水対策 L字溝と浸透柵で対応

山田 富士見学童保育所の前の道路は、雨水を飲み込む排水溝がなく雨が降れば川のように流れる、夏場子どもがみ

ずあそびをすれば道路に流れ出す。何とか雨水排水対策を考えていただきたい。

建設部長 「当面の対策としてL型側溝の流末付近に浸透柵を設置したい」と答えました。



何でも相談会

2月19日（日）10時～15時

一丁目クラブ（稲荷町消防署南側）
サラ金、リストラ、不払い、申告、税金滞納など何でも相談ください。弁護士、税理士、社会保険労務士と市議会議員が対応します。